

国 語 科 学 習 指 導 案

第 3 学 年 * 組

指 導 者 * * * *

単元名	短歌の鑑賞文を書こう		
単元目標	○積極的に鑑賞文を書こうとする。(関心・意欲・態度) ○他者を意識した鑑賞文を書くことができる。(書く能力) ○正しい文法や表記, 語句, 語彙を用いた鑑賞文を書くことができる。(知識・理解)		
単元の評価規準	関心・意欲・態度	書く能力	知識・理解
	・積極的に鑑賞文を書こうとしている。	・他者を意識した鑑賞文を書いている。	・正しい文法や表記, 語句, 語彙を用いた鑑賞文を書いている。

指導と評価の計画 (全 6 時間)

時間	各時間の目標	主な学習活動	各時間の具体的評価規準及び指導の手立て
0	1 短歌を一首以上つくる。	1 短歌を一首以上つくる。 ※夏季休業中	◎ 情景や心情を整理しまとめ, 短歌をつくっている。
1	1 大岡信及び『折々のうた』を確認する。 2 教科書内より短歌二首及び鑑賞文を取り上げ, 短歌の鑑賞文の書き方について理解する。	1 教科書及び図説を用いて作者及び作品について確認する。 2 短歌二首及び鑑賞文を音読する。 3 短歌二首及び鑑賞文について, 内容(情景や心情, 主題)を理解する。 4 鑑賞文の書き方について確認する。(ワークシート)	◎ 近代短歌の情景や心情, 主題を的確に理解しようとしている。(関・意・態) ◎ 他者を意識した鑑賞文の書き方を身に付けようとしている。(関・意・態) 評価方法: 机間指導, ノート, ワークシートの確認 【指導の手だて】 1 音読することが苦手な生徒には, 個人指導をする。 2 鑑賞文の書き方について理解できない生徒には, ワークシートで確認するよう指示する。
2	1 教科書内より短歌三首及び鑑賞文を取り上げ, 短歌の鑑賞文の書き方について理解する。	1 短歌三首及び鑑賞文について音読する。 2 短歌三首及び鑑賞文について, 内容(情景や心情, 主題)を理解する。 3 鑑賞文の書き方について確認する。(ワークシート)	◎ 近代短歌の情景や心情, 主題を的確に理解しようとしている。(関・意・態) ◎ 適切な鑑賞文の書き方を身に付けようとしている。(関・意・態) 評価方法: 机間指導, ノート, ワークシートの確認 【指導の手だて】 1 音読することが苦手な生徒には, 個人指導をする。 2 鑑賞文の書き方についてよく理解できない生徒には, ワークシートを確認するよう指示する。

3	<p>1 短歌の添削をする。</p> <p>2 短歌を推敲・清書する。</p>	<p>1 ペアの相手の短歌を添削する。(ワークシート)</p> <p>2 添削を参考に、自分の短歌を推敲、清書する。</p> <p>ペア活動</p>	<p>①積極的にペアの相手の短歌の添削を行おうとしている。(関・意・態)</p> <p>②積極的に推敲・清書を行おうとしている。(関・意・態)</p> <p>評価方法：机間指導，作品内容</p> <p>1 添削できない場合には、ワークシートを見ながら、今までの学習を振り返らせたり、相手の短歌がより良いものになるよう率直に意見を交換し合いながら仕上げるよう指導する。</p> <p>2 推敲、清書できない場合には、ペアの相手の助言を参考にし、最終的に「短歌鑑賞文集」の中で、他者に読まれることを意識し、真面目に取り組むよう指導する。</p>
4	<p>1 短歌の鑑賞文を書く。</p>	<p>1 ペアの相手の短歌の背景や心情、主題を読み取り、相手と確認し合いながら、鑑賞文を200字で書く。</p> <p>ペア活動</p>	<p>①積極的に鑑賞文を書こうとしている。(関・意・態)</p> <p>②他者を意識した鑑賞文を書いている。(書)</p> <p>評価方法：机間指導，作品内容</p> <p>【指導の手だて】</p> <p>1 鑑賞文を書けない場合には、ワークシートを見ながら、今までの学習を振り返らせたり、なるべく相手の作品の良い点を見付け、また作品内容について作者(ペアの相手)に確認したりしながら書いてみるよう指導する。</p>
5	<p>1 鑑賞文を添削する。</p> <p>2 鑑賞文を推敲・清書する。</p>	<p>1 ペアの相手の鑑賞文について、添削する。</p> <p>2 添削を参考に、自分の鑑賞文を推敲、清書する。</p> <p>ペア活動</p>	<p>①積極的にペアの相手の鑑賞文の添削を行おうとしている。(関・意・態①)</p> <p>②他者を意識した鑑賞文を書いている。(書)</p> <p>③正しい文法や表記、語句、語彙を用いた鑑賞文を書いている。(知・理)</p> <p>④積極的に推敲、清書を行おうとしている。(関・意・態②)</p> <p>評価方法：机間指導，作品内容</p> <p>【指導の手だて】</p> <p>1 添削できない場合には、ワークシートを見ながら、今までの学習を振り返らせたり、相手の鑑賞文がより良いものになるように、誤字脱字から内容を正しく理解しているかに至るまで、詳細にわたって丁寧に確認し、率直に意見を述べるよう指導する。</p> <p>2 推敲、清書できない場合には、ペアの相手の助言を参考にし、最終的に「短歌鑑賞文集」の中で他者に読まれることを意識し、真面目に取り組むよう指導する。</p>
6	<p>1 作品を鑑賞し合う。</p>	<p>1 短歌鑑賞文集にして読み合う。</p>	<p>①積極的に短歌集を鑑賞している。(関・意・態)</p> <p>評価方法：机間指導</p>